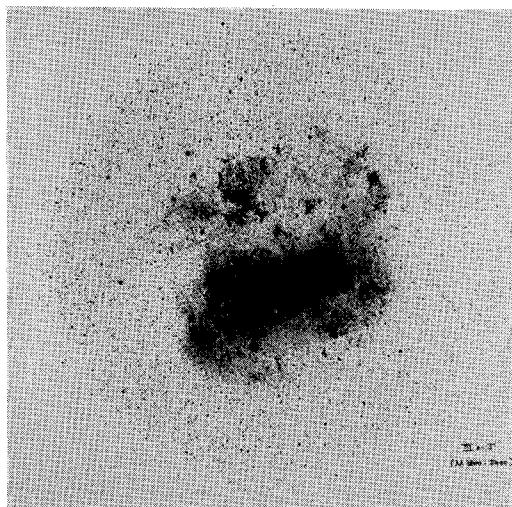


銀河めぐり [IX] 大マゼラン雲

大マゼラン雲は我が銀河系から約 50 kpc 離れ、質量がその約 1/10 の伴星雲である。通常不規則型に分類されるが、中心部に棒状構造があり、そこから渦状腕をトレースすることもできる。全体に水素ガスが多く、ここ数百万年間に星が急激に生成されつつあり、若く、青い星が多い。バーの北東の隅に巨大 H II 領域 30 Dor (タランチュラ星雲) があり、この領域はその典型として有名である。又大小マゼラン雲、銀河系を結ぶ中性水素ガス雲 (Magellanic Stream) が見出されており、これらの銀河間の相互作用の跡を示している。

天の南極に近いため残念ながら南半球でしか見ることができない。写真で見ると雄大な形をしているが、肉眼でみる限り白くボヤーとした、名前のとおりの雲にしか見えない。しかし大小マゼラン雲、南天銀河を含んだ南天の空は偉観であり一見に値する。(松本敏雄)

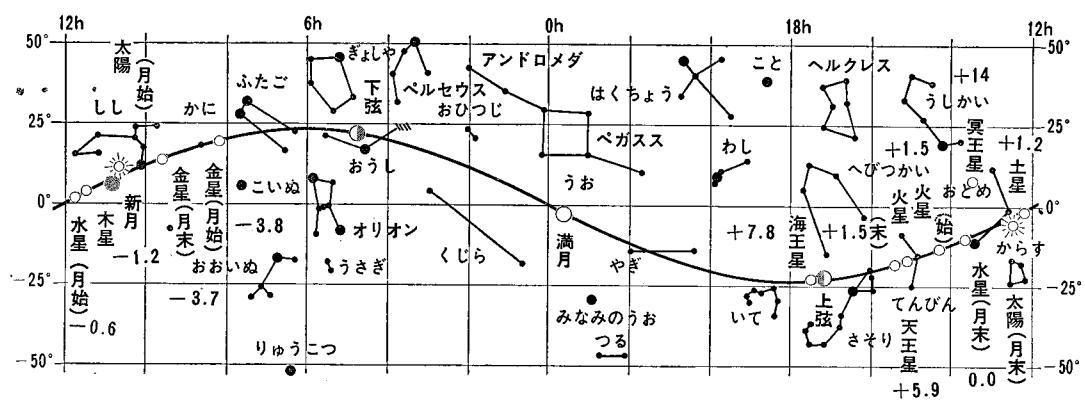


◇ 9月の天文暦 ◇

日 時	記	事
1 12	海王星	留
2 3	下 弦	
7 21	白 露	(太陽黄経 165°)
9 19	朔	
12 18	月	最遠
13 19	木 星	合
17 23	上 弦	
23 6	秋 分	(太陽黄経 180°)
23 11	土 星	合
24 21	望	
25 12	月	最近



◆ 9月の日月惑星運行図 ◆



明方の空 ← → 夕方の空